

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 11月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000048		
法人名	有限会社 ヒサオカ		
事業所名	グループホーム 能美いこいの里		
所在地	広島県江田島市大柿町小古江684番地3 (電話) 0823-57-0040		
自己評価作成日	令和5年11月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3495000048-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年11月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様一人一人の思いを大切にし集団レクリエーション、個別レクリエーションなどを実施し、その方に合ったコミュニケーションを心掛けています。利用者に関われる時間を少しでも多く持てるように、職員一人一人が意識して日々の仕事に取り組んでいます。毎月、職員が考案した季節行事を開催しています。また、共用型デイサービスも開始しており、外部との交流が深められるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

施設理念にあるように、「職員は笑顔で接し、利用者が毎日笑顔で過ごせるように、家族が笑顔で任せられる」サービスを提供しようと取り組んでいる。
食器を拭く、もやしのひげ取り、モップで床掃除等を職員と一緒にしている。
毎日の体操やゲーム、毎月の行事を職員が担当して花見などのドライブを計画し、おやつ作りを利用者と一緒に行っている。地域行事への参加やボランティア訪問は、コロナ感染状況を見極めて再開する予定である。
看護師は利用者の体調管理を担当し、感染症予防・防止に尽力し職員と一緒に取り組んでいる。
職員の業務分担は決まっているが、職員同士が助け合って業務を遂行している。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念は職員控室に掲示しており、毎夕の申し送り時に全員で唱和し、意味と意義を共有している。	施設理念は「職員が笑顔を絶やすことなく、ご利用者が笑顔で日々を送り、ご家族が笑顔で任せられるサービス、地域貢献」と、笑顔を軸とした内容である。夕方の申し送りで理念を唱和し共有している。職員は、理念の実践に笑顔で取り組んでいる。	現状では、理念の実践状況を具体的に検証したり評価する事が行われていない。今後は、職員会議で、理念の実施状況について話し合い、今後のサービスにつなげることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	現在、新型コロナウイルス感染予防対策として、地域交流は極力控えており、面会についても短時間・少人数としている段階である。	マラソン大会や花火大会は、コロナ禍の為に中止になり、今年度は再開されたが感染状況を考慮して、参加していない。地域住民や家族が参加する敬老会や新年会、ボランティアの訪問も中止となっているが、今後は状況を見て、再開したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	高齢福祉課や地域包括支援センターの職員と連携し、ご家族や地域の方に向けて認知症高齢者の理解と支援方法を伝えると共に、運営推進会議などの機会において意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では利用者様の状態や利用状況、行事などの報告を書面により行っている。また、現在取り組んでいるサービスの内容や困難事例等も記載し、報告を行っている。	運営推進会議は、コロナ禍により書面での報告であった。今年2月から、行政・地域代表・家族が参加して対面による会議開催となり、活発な意見交換を行っている。家族からの面会の要望は、事前予約で相談室で実施するようにし、地域行事への参加は状況を勘案して検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険制度の内容や、事業所が抱えている問題などの相談以外でも、市が推奨する取り組みや、職員のスキルアップ研修等に可能な限り参加するようにしている。	市の担当者や地域包括支援センター職員は、運営推進会議に参加し、意見交換を行っている。介護保険に関して、市に問い合わせや相談を行っている。「市からの指導」では、具体的な内容について市の担当者と協議している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠については日中のみ開放。転倒・転落の危険がある階段のみ常時施錠を行っている。また職員に対する身体拘束禁止の周知としては、身体拘束適正委員会を定期開催し、内容を十分理解したうえで利用者様のケアを行うようにしている。	施設内に設置された「身体拘束適正化委員会」は、委員会メンバーがテーマを決めて勉強会を行い、それをもとに「身体拘束をしないケアの施設内研修」を実施している。また、委員会を定期的に開催して、施設内の拘束の状況をまとめて報告書を作成している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会の定期開催により虐待防止の内部研修を行っている。その上で、職員一人一人が意識してケアを行い、職員同士が相互に注意し合える関係を築いている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度については、職場内で学習機会を設けて、理解や活用が進むように力を入れている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書と重要事項説明書の説明を行い、利用者様・ご家族の不安や疑問に対しても十分納得して頂けるように説明した上でご承認頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様のご要望には、ご意見を頂いた時にその都度対応している。ご家族様からは面会時や電話連絡によりご要望を頂いている。また、運営推進会議等を通じて外部に発表すると共に、ご要望に沿えるように努めている。	コロナ禍により面会が制限された状況では、管理者が家族からの要望や相談に、ラインで連絡を取り対応している。面会が再開されてからは、面会時にも意見を聞いている。	家族からの個人的な要望には、対応しているが、今後は、運営状況や事故・ヒヤリハット事例などを家族に報告する事が望まれる。事業所の状況が記載された運営推進会議事録を家族に送付するなど情報を提供して家族からの意見を聞くことを期待する。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者は職員の提案や意見に耳を傾けるように努め、全体ミーティングでも意見を聞くようにしている。提案等については職員全員で話し合い、できる限り反映している。	職員の意見は職員会議で聞き、管理者は、職員からの意見や相談に随時応じている。職員からの意見により、昼休憩を交代で取るようにし、施設行事では、手伝いの職員を配置するようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各々の職員は役割を持っている。また、各自担当する利用者様のケアプラン原案作成などにに関わりながら、自分の意見や提案が反映されることにより意欲的に仕事に取り組むことができている。代表者は自己評価と実績を考慮し、給与等で反映するようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者と管理者は職員一人ひとりの経験や力量、及び向上心等を把握し、各職員に合った外部研修に参加できるように努めている。また、全体ミーティングでは様々な福祉・医療の勉強会を行いながら、職員全体のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他施設や医療機関との交流機会があれば、常に意見交換や情報交換を行うことで、お互いが、サービスの質の向上に繋がるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接にて、ご本人やご家族様に聞き取り調査を行い不安なことや困っていることなど、ご要望を十分把握した上でサービス計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時および、ご契約時には、ご家族様のご要望を十分に聞き取り、不安を取り除けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご利用者様の現在の状況を把握した上で、現在、必要なサービスがどこまで行えているかを説明している。場合によっては他のサービスや医療機関等のご利用が必要になることも説明し、ご理解頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様に対しては人生の先輩として敬意を表した上で、馴染みの関係になれるように接し、家族のような雰囲気の中で過ごして頂けるように、職員一人ひとりが意識しながら、関わりを持つようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族参加型の行事を開催するなど、いつでも施設へ足を運んで頂けるような雰囲気作りを行っている。ご家族と職員が一緒となって、利用者様を支えていけるようにご協力をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの商店や美容院、医療機関を望まれた場合は、ご希望に沿えるように対応している。また、施設を開放し(現在は中断中)、ご家族だけでなく、友人等にも足を運んで頂いている。</p>	<p>コロナ禍により、家族や知人の面会が中止となったが、事業所は、利用者が家族に電話するのを手伝い関係継続を支援している。馴染みの理美容院に行けなくなり、訪問理美容を利用し、会話を通じて馴染みの関係が出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士が関りを持てるようにレクリエーション活動等を行っている。施設内での馴染みの関係性もでき、利用者様同士が支え合い、協力している場面も多々見受けられる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	在宅に戻られた場合でも担当のケアマネと連携をとり、必要に応じて情報提供する等の協力をしている。また、退所が決まった場合でもご希望がある場合には、他の施設や医療機関等をご一緒に探す努力をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から、思いやりやニーズを把握し支援を行っている。意思を伝えることが困難な利用者様であってもご家族様からの情報や日々の状況等を考慮し、安心して過ごして頂けるように支援を行っている。	日々の会話から把握した利用者の意向や要望は、職員会議で報告している。花が好きな利用者は、スーパーで好きな花を選んで、花を花瓶に生けて飾った事例がある。自分で思いを伝えられない利用者は、表情を観察し、表情が暗い時は音楽をかけて寄り添っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接ではご本人やご家族から、これまでの生活歴や生活環境等を伺い、さらに、担当ケアマネや医療機関のスタッフ等からも、在宅時のサービス利用状況や診察状況等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日中および夜間の状態をご利用者様ごとの個人日誌に記録し、職員全員で共有し把握に努めている。必要時には再アセスメントを行い、常に状態の変化やニーズに対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人の意見や、ご家族の希望や意見の他、医療機関の関係者から得た情報を分析し、計画作成担当者と担当職員とで何度も話し合いを行い、過不足のないサービス計画を作成するように努めている。</p>	<p>利用者に対して担当職員を配置し、担当者がケアプランのモニタリングを毎月実施し、計画作成担当者がまとめている。その後、計画作成担当者がケアプランの見直しを行い、家族の意見を聞き、ケアプランを作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日24時間タイムスケジュール形式で経過記録を残している。特変者は日勤日誌や夜勤日誌にも転記することで、職員全員による情報共有および心身の状態把握に努め、サービス計画の作成やモニタリングを行う際にも活用している。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況の変化に応じて、柔軟な対応ができるように努めている。ただ、その際は必ず利用者様やご家族様に相談し、ニーズやご意見を伺うようにしている。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>医療機関・ボランティア・馴染みの商店など、その方が生活していく上で全て生活資源と捉え、継続して関わることが出来るように支援している。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様の大半は施設に隣接した協力医を主治医とされているが、ご希望により馴染みの医療機関を継続されている方もおられる。主治医からの専門医受診の勧めには御家族様との協力体制をとりながら通院介助を行っている。医療機関には必要に応じ情報提供を行うなど適切な医療が受けられるよう、日頃より連携を図っている。</p>	<p>利用者と家族の希望に応じてかかりつけ医を決めている。利用者が体調不良時には、看護師がかかりつけ医と連絡を取り、対応している。看護師は、毎日、利用者の健康状況を把握し、事業所が作成した「急変時の対応マニュアル」に沿って対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調の変化や疾病の悪化が見られた時には看護職員に報告し、必要であれば受診の手続きをとっている。看護職員不在時でも電話連絡により、状態の報告・相談及び指示を受けることができる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当医や看護師、相談員と連携を取り、現在の状態や入院期間などを常に把握している。また、退院できる見通しができた時点で、帰所後も不安なく生活が送れるように、職員全員でケア方法の話し合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療施設と同等の対応は難しいことは契約時にご説明している。その上で看取りをご希望された場合には、主治医と相談の上、できる限りの対応を行っている。その際には主治医からご家族様に、現在の状態と今後予測される変化、また、医療が行える限界などの説明をして頂いている。	利用開始時に「重度化した場合における対応に係る指針」を家族に説明し、重度化した際の意向を確認している。重度化した際は、医師が家族に状況を説明し、今後の方針を家族と相談して決定し、それに沿って支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時に対処するマニュアルを作成し、職員全員に周知している。また、全体ミーティングでも看護職員を中心に応急処置法や対処法の勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防計画に基づき、年2回避難訓練を行っている。また、協力医療機関や近隣の方にも災害発生時の連絡網を配布し、協力体制を築いている。	年2回、日中と夜間における避難訓練を行い、利用者も参加して避難経路の確認を行っている。「水害・土砂災害における避難計画」を作成している。災害時における食料の備蓄も準備している。	気候温暖化により、近年は水害・土砂災害が頻繁に発生し、地震にも備える必要がある。今後は、水害・土砂災害時における避難の研修を実施することを期待する。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人ひとりを尊重し、受容・共感・傾聴の姿勢を大切にしている。人生の先輩として敬意を表し、プライドやプライバシーを損ねない声かけと対応を心掛けている。接遇マナーについては職員同士が互いにアドバイスを言い、ミーティングでも定期的に研修会を行っている。	外部講師による「人格の尊重とプライバシー確保を含めた接遇研修」を年1回、実施している。接遇に関する施設内研修も行い、言葉使い・適切な表現について指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御本人様の意見は勿論、意思表示がうまく表せない利用者様であっても、分かりやすい選択肢を用意するなどしてできるだけ自己決定をして頂けるように支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様一人ひとりの性格や生活習慣を尊重し、できるだけ御本人様のペースに合わせた支援と個別対応に心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る衣服を選んで頂くことや、毛染めやパーマをご希望された方には美容院に行けるように支援している。また、お化粧をされる利用者様にも、使いなれた化粧品をご使用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	簡単な調理や味見、盛り付けから、食後の後片づけまで、利用者様の個々の能力に応じたことを手伝って頂いている。事業所の畑に成った野菜をご一緒に収穫し、食材に利用する等、楽しく食事ができる雰囲気作りを常に心がけている。	管理栄養士が作成した献立に基く材料を職員が調理して提供している。誕生日会ではケーキと特別メニューの食事を提供し、季節ごとの特別メニューも提供している。仕出し弁当を提供したり、毎月の行事でおやつを作ることもある。畑のサツマイモを収穫して料理に利用することもある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	外注している食材でカロリー計算されて いるが、塩分や糖分、脂質には気を付け ながら、味が損なわれないようにも心が けている。また、一人ひとりの状態に合 わせて、普通食・粥・刻み・トロミなど の工夫を行い、摂取量は毎食管理してい る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアを行い、自力ケアが 困難な方には介助を行っている。口腔内 の疾患がある方には、歯科医に往診での 治療をして頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて管理し、状態把握を行ってい る。訴えない方でも、声かけとトイレ 誘導を行い、気持ち良く過ごして頂ける ように支援している。介助の際でもでき るだけ残存機能を活かして頂き、難しい 部分に関しては介助を行うようにしてい る。	排泄パターンを把握してトイレ誘導して いる。利用者の動作・表情を観察して、 トイレ誘導することもある。尿の吸収量 が多いパットを利用することで、安眠で きるようになり、パットの使用量が少な くなった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	チェック表にて管理し、排便状況の把握 を行っている。出来るだけ自然排便を促 すため、適度な運動とバランスの良い食 事、水分量の確保を支援している。排便 が見られない場合は、看護職員に報告、 医師に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	基本的には週2回実施。また、1・2階 共に午前浴を行っている。利用者様の体 調・希望に応じて好みの時間の入浴も実 施している。また、その方の好みに応じ た湯温調整を実施し、冬至にはゆず湯を 楽しんで頂き入浴でも季節を感じて頂 けるように工夫している。	午前中に週に2回、入浴を実施し、利用 者と会話をしながら入浴するようにして いる。シャワーチェアを利用したシャ ワー浴の利用者もいる。入浴を嫌がる利 用者は、職員を変更したりなど対応を工 夫している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様それぞれで休まれる時間が異なっており、訴えに合わせた就寝介助を行っている。夜間はトイレ誘導や、パット交換、希望時の水分補給などを行い巡回と様子観察にて、安心して気持ちよく休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている薬の内容や用法、効能が把握できるように一覧している。症状の変化については経過記録に残し、看護職員を通じて主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者様には、それぞれ施設内での役割を持っていただき、生活意欲の向上に繋がるように支援している。また、個別で行うレクリエーションや趣味などの活動が楽しく続けられるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、職員が付き添い散歩に出かけることもある。季節花や海を見て喜ばれる利用者様も多く、良い気分転換となっている。その他ドライブや買い物支援で外出をされる事もあり（現在は中断中）、ご家族の協力等で外食や外泊をされることもある。	天気の良い日は、近隣を散歩して 花を眺めたり、花を摘んで飾ることもある。季節行事として花見などのドライブを実施している。新型コロナウイルスの感染状況を検討して、地域行事に参加したいと考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	トラブル防止の為、原則、金銭管理はご家族様にお願いしている。また、買い物や通院等における支払いは施設が立て替えている。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は施設のものを使用して頂いている。利用者様の中には携帯電話を使用されている方もおられる。届いた手紙は御本人に直接渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>フロアは温度・湿度計を見ながら利用者様が過ごしやすい室温・湿度調整を行い、健康管理に努めている。壁面には季節を感じて頂ける装飾や、行事での写真などを飾り、室内でも季節を感じて頂けるように工夫し、楽しい雰囲気作りに努めている。</p>	<p>毎日、共有場所と居室は、担当者を決めて清掃し清潔に保つようにし、利用者がモップで床掃除をすることもある。利用者で作成した作品を掲示している。七夕飾りやクリスマスなどの季節の飾りも行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペースの一角にソファを設置しており、テレビ鑑賞される方や、談話を楽しまれる方など、それぞれが自由に過ごされている。利用者様は居室と共有スペースを自由に行き来され、仲の良い利用者様同士がお互いの居室を訪れ、過ごされていることもある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族には、使い慣れたものや思い出のあるものを持ち込んで頂くようお願いしている。出来るだけ住み慣れた場所に近い空間を作り、安心して過ごして頂けるように支援している。</p>	<p>使い慣れた家具を持ち込み、仏壇や冷蔵庫を持参する利用者もいる。家族の写真や花を飾り、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やトイレ、浴室には手すりを設置しており、利用者様が生活しやすい環境にしている。自立を促すためにも過剰な介護は控え、出来ていることが今後も継続して行えるよう見守りや声かけによる支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念は職員控室に掲示しており、毎夕の申し送り時に全員で唱和し、意味と意義を共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	現在、新型コロナウイルス感染予防対策として、地域交流は極力控えており、面会についても短時間・少人数としている段階である。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	高齢福祉課や地域包括支援センターの職員と連携し、ご家族や地域の方に向けて認知症高齢者の理解と支援方法を伝えると共に、運営推進会議などの機会において意見交換を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議では利用者様の状態や利用状況、行事などの報告を書面により行っている。また、現在取り組んでいるサービスの内容や困難事例等も記載し、報告を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険制度の内容や、事業所が抱えている問題などの相談以外にも、市が推奨する取り組みや、職員のスキルアップ研修等に可能な限り参加するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠については日中のみ開放。転倒・転落の危険がある階段のみ常時施錠を行っている。また職員に対する身体拘束禁止の周知としては、身体拘束適正委員会を定期開催し、内容を十分理解したうえで利用者様のケアを行うようにしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会の定期開催により虐待防止の内部研修を行っている。その上で、職員一人一人が意識してケアを行い、職員同士が相互に注意し合える関係を築いている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度については、職場内で学習機会を設けて、理解や活用が進むように力を入れている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書と重要事項説明書の説明を行い、利用者様・ご家族の不安や疑問に対しても十分納得して頂けるように説明した上でご承認頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様のご要望には、ご意見を頂いた時にその都度対応している。ご家族様からは面会時や電話連絡によりご要望を頂いている。また、運営推進会議等を通じて外部に発表すると共に、ご要望に沿えるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者は職員の提案や意見に耳を傾けるように努め、全体ミーティングでも意見を聞くようにしている。提案等については職員全員で話し合い、できる限り反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各々の職員は役割を持っている。また、各自担当する利用者様のケアプラン原案作成などに関わりながら、自分の意見や提案が反映されることにより意欲的に仕事に取り組むことができている。代表者は自己評価と実績を考慮し、給与等で反映するようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者と管理者は職員一人一人の経験や力量、及び向上心等を把握し、各職員に合った外部研修に参加できるように努めている。また、全体ミーティングでは様々な福祉・医療の勉強会を行いながら、職員全体のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他施設や医療機関との交流機会があれば、常に意見交換や情報交換を行うことで、お互いが、サービスの質の向上に繋がるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接にて、ご本人やご家族様に聞き取り調査を行い不安なことや困っていることなど、ご要望を十分把握した上でサービス計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接時および、ご契約時には、ご家族様のご要望を十分に聞き取り、不安を取り除けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご利用者様の現在の状況を把握した上で、現在、必要なサービスがどこまで行っているかを説明している。場合によっては他のサービスや医療機関等のご利用が必要になることも説明し、ご理解頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様に対しては人生の先輩として敬意を表した上で、馴染みの関係になれるように接し、家族のような雰囲気の中で過ごして頂けるように、職員一人一人が意識しながら、関わりを持つようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族参加型の行事を開催するなど、いつでも施設へ足を運んで頂けるような雰囲気作りを行っている。ご家族と職員が一緒となって、利用者様を支えていけるようにご協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの商店や美容院、医療機関を望まれた場合は、ご希望に沿えるように対応してる。また、施設を開放し(現在は中断中)、ご家族だけでなく、友人等にも足を運んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士が関わりを持てるようにレクリエーション活動等を行っている。施設内での馴染みの関係性もでき、利用者様同士が支え合い、協力している場面も多々見受けられる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	在宅に戻られた場合でも担当のケアマネと連携をとり、必要に応じて情報提供する等の協力をしている。また、退所が決まった場合でもご希望がある場合には、他の施設や医療機関等をご一緒に探す努力をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から、思いやりやニーズを把握し支援を行っている。意思を伝えることが困難な利用者様であってもご家族様からの情報や日々の状況等を考慮し、安心して過ごして頂けるように支援を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接ではご本人やご家族から、これまでの生活歴や生活環境等を伺い、さらに、担当ケアマネや医療機関のスタッフ等からも、在宅時のサービス利用状況や診察状況等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日中および夜間の状態をご利用者様ごとの個人日誌に記録し、職員全員で共有し把握に努めている。必要時には再アセスメントを行い、常に状態の変化やニーズに対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人の意見や、ご家族の希望や意見の他、医療機関の関係者から得た情報を分析し、計画作成担当者と担当職員とでも話し合いを行い、過不足のないサービス計画を作成するように努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日24時間タイムスケジュール形式で経過記録を残している。特変者は日勤日誌や夜勤日誌にも転記することで、職員全員による情報共有および心身の状態把握に努め、サービス計画の作成やモニタリングを行う際にも活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況の変化に応じて、柔軟な対応ができるように努めている。ただ、その際は必ず利用者様やご家族様に相談し、ニーズやご意見を伺うようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>医療機関・ボランティア・馴染みの商店など、その方が生活していく上で全て生活資源と捉え、継続して関わることが出来るように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様の大半は施設に隣接した協力医を主治医とされているが、ご希望により馴染みの医療機関を継続されている方もおられる。主治医からの専門医受診の勧めには御家族様との協力体制をとりながら通院介助を行っている。医療機関には必要に応じ情報提供を行うなど適切な医療が受けられるよう、日頃より連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調の変化や疾病の悪化が見られた時には看護職員に報告し、必要であれば受診の手続きをとっている。看護職員不在時でも電話連絡により、状態の報告・相談及び指示を受けることができる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当医や看護師、相談員と連携を取り、現在の状態や入院期間などを常に把握している。また、退院できる見通しができた時点で、帰所後も不安なく生活を送れるように、職員全員でケア方法の話し合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療施設と同等の対応は難しいことは契約時にご説明している。その上で看取りをご希望された場合には、主治医と相談の上、できる限りの対応を行っている。その際には主治医からご家族様に、現在の状態と今後予測される変化、また、医療が行える限界などの説明をして頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時に対処するマニュアルを作成し、職員全員に周知している。また、全体ミーティングでも看護職員を中心に応急救置法や対処法の勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防計画に基づき、年2回避難訓練を行っている。また、協力医療機関や近隣の方にも災害発生時の連絡網を配布し、協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人ひとりを尊重し、受容・共感・傾聴の姿勢を大切にしている。人生の先輩として敬意を表し、プライドやプライバシーを損ねない声かけと対応を心掛けている。接遇マナーについては職員同士が互いにアドバイスを言い、ミーティングでも定期的に研修会を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御本人様の意見は勿論、意思表示がうまく表せない利用者様であっても、分かりやすい選択肢を用意するなどしてできるだけ自己決定をして頂けるように支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様一人ひとりの性格や生活習慣を尊重し、できるだけ御本人様のペースに合わせた支援と個別対応に心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る衣服を選んで頂くことや、毛染めやパーマをご希望された方には美容院に行けるように支援している。また、お化粧をされる利用者様にも、使いなれた化粧品をご使用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	簡単な調理や味見、盛り付けから、食後の後片づけまで、利用者様の個々の能力に応じたことを手伝って頂いている。事業所の畑に成った野菜をご一緒に収穫し、食材に利用する等、楽しく食事ができる雰囲気作りを常に心がけている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	外注している食材でカロリー計算されて いるが、塩分や糖分、脂質には気を付け ながら、味が損なわれないようにも心が けている。また、一人ひとりの状態に合 わせて、普通食・粥・刻み・トロミなど の工夫を行い、摂取量は毎食管理してい る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアを行い、自力ケアが 困難な方には介助を行っている。口腔内 の疾患がある方には、歯科医に往診での 治療をして頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	排泄表にて管理し、状態把握を行ってい る。訴えない方でも、声かけとトイレ 誘導を行い、気持ち良く過ごして頂ける ように支援している。介助の際でもでき るだけ残存機能を活かして頂き、難しい 部分に関しては介助を行うようにしてい る。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	チェック表にて管理し、排便状況の把握 を行っている。出来るだけ自然排便を促 すため、適度な運動とバランスの良い食 事、水分量の確保を支援している。排便 が見られない場合は、看護職員に報告、 医師に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	基本的には週2回実施。また、1・2階 共に午前浴を行っている。利用者様の体 調・希望に応じて好みの時間の入浴も実 施している。また、その方の好みに応じ た湯温調整を実施し、冬至にはゆず湯を 楽しんで頂き入浴でも季節を感じて頂 けるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様それぞれで休まれる時間が異なっており、訴えに合わせた就寝介助を行っている。夜間はトイレ誘導や、パット交換、希望時の水分補給などを行い巡回と様子観察にて、安心して気持ちよく休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている薬の内容や用法、効能が把握できるように一覧している。症状の変化については経過記録に残し、看護職員を通じて主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者様には、それぞれ施設内での役割を持っていただき、生活意欲の向上に繋がるように支援している。また、個別で行うレクリエーションや趣味などの活動が楽しく続けられるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、職員が付き添い散歩に出かけることもある。季節花や海を見て喜ばれる利用者様も多く、良い気分転換となっている。その他ドライブや買い物支援で外出をされる事もあり(現在は中断中)、ご家族の協力等で外食や外泊をされることもある。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	トラブル防止の為、原則、金銭管理はご家族様にお願いしている。また、買い物や通院等における支払いは施設が立て替えている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は施設のものを使用して頂いている。利用者様の中には携帯電話を使用されている方もおられる。届いた手紙は御本人に直接渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>フロアは温度・湿度計を見ながら利用者様が過ごしやすい室温・湿度調整を行い、健康管理に努めている。壁面には季節を感じて頂ける装飾や、行事での写真などを飾り、室内でも季節を感じて頂けるように工夫し、楽しい雰囲気作りに努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有スペースの一角にソファを設置しており、テレビ鑑賞される方や、談話を楽しまれる方など、それぞれが自由に過ごされている。利用者様は居室と共有スペースを自由に行き来され、仲の良い利用者様同士がお互いの居室を訪れ、過ごされていることもある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族には、使い慣れたものや思い出のあるものを持ち込んで頂くようお願いしている。出来るだけ住み慣れた場所に近い空間を作り、安心して過ごして頂けるように支援している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やトイレ、浴室には手すりを設置しており、利用者様が生活しやすい環境にしている。自立を促すためにも過剰な介護は控え、出来ていることが今後も継続して行えるように見守りや声かけによる支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム能美いこいの里

作成日 令和5年12月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の実践状況を具体的に検証したり、評価する場がない。	施設理念の共有と実践を目指す。	毎日の理念唱和に加えて、毎月実施している職場会議で理念の実施状況を話し合うことで理念の共有化を図る。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映を行うシステムの構築。	広く家族様からの意見を伺うことでより良い施設運営を目指す。	運営状況、事故・ヒヤリハット、運営推進会議議事録等を家族に報告し、広く意見を聞く事で、施設運営に反映する。	12ヶ月
3	35	気候変動による自然災害に対応するための避難研修の場を作る。	自然災害に対応できるスキルの構築を目指す。	今後は水害や土砂災害における避難訓練や研修会等を実施する。	12ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。